

イウカさんの OLÁ, HIKONE!



(olá[オラ]=ポルトガル語で「こんにちは」)

第10回 サッカー!

彦根の皆さん、こんにちは!

暖かくなったと思ったら、もう初夏の足音が聞こえるようになりました。新緑が目気持ちいい季節です。彦根のまちは、四季折々に美しい姿を見せてくれるので、今度はどんな発見ができるか、とても楽しみです。

◆「サッカー」と「フットボール」

さて、もうすぐ4年に1度の国際的なスポーツイベント、サッカーのワールドカップが開催されますね。今回は、ブラジルの人たちが大好きなスポーツ、サッカーについて話したいと思います。

サッカーの原型は、イギリス諸島で生まれました。8世紀から19世紀までは、イギリスのいろいろな地方で、それぞれ違ったルールで盛んに行われていました。1863年に標準的なルールが決められましたが、その時に、ボールをもっぱら足で蹴る「フットボール」と、手に持って走ることもできる「ラグビー」に枝分かれしたと言われていきます。この「フットボール」が日本で言う「サッカー」です。



手に持って走る「フットボール」の盛んなアメリカなど、「サッカー」という言葉を使う国はごく一部です。世界の多くの国では、日本で言う「サッカー」は「フットボール」と表現します。

◆ブラジル人の「民族文化」?

「ブラジルはサッカーの国だ」とよく言われます。100か国以上からの移民がいて、多様な文化を持つブラジルですが、サッカーに対する情熱だけはみんなの共通点です。ブラジルといえばサンバやカーニバルも世界的に有名ですが、サッカーは国中のどこへ行っても、一年中見ることができます。バレーボールやバスケットボールなども人気があるし、自動車レースのF1やテニスのランキングではブラジル人がトップになったこともあります(F1ではセナ、男子テニスではケルテン)が、「国民的スポーツ」といえば、やっぱりサッカーです(日本の「国民的スポーツ」が野球であるように)。

サッカーはブラジルの人にとって、もっとも身近なスポーツです。男の人たちは、休みの日になると友達、親戚、

近所の人などでチームを作り、サッカーの試合を楽しみます。試合が終わると、家族もいっしょになってバーベキューをします。ほとんどのブラジル人はだれとでもすぐ友達になるので、サッカーの試合をするたびに、どんどん友達が増えていきます。

ブラジルの男の子たちは、小さなころからサッカーをして育ちます。地域のクラブ・チームに入って練習する子どももいますが、経済的に恵まれない子どもも、公園や道路など、ちょっと広い場所があればどこでもサッカーをしています。ボールがなくても、靴下を丸めたものや、ビールの王冠、マッチの箱など、なんでもボールの代わりにしてしまいます。「ブラジル民族」という民族は存在しませんが、サッカーはまるで民族文化になっているかのようです。

◆ブラジルの誇り

ブラジルのナショナル・チームは世界的に有名です。ワールドカップでは4回優勝していて、歴史に名を残す、すばらしい選手を何人も出しています。そうしたことは、ブラジル人にとってとても大切なことです。南米最大の経済力や、豊かな自然と文化、豊富な天然資源などブラジルに良いところはたくさんありますが、何と云っても「サッカーが強いこと」がブラジル人の自慢です。「サッカーがそれほど好きでない」というブラジル人もいますが、そんな人でも、ナショナル・チームの試合になるととても熱心に応援し、勝つと大喜びします。サッカーは、ブラジル人のアイデンティティの一部なのです。

今度のワールドカップでは、何億人ものサッカーファンが日本と韓国に注目します。世界中の人たちといっしょにサッカーを楽しみましょう!

フェアプレーでque vença o melhor! (がんばれ!)

ポルトガル語・最初の一步

Você gosta de . . . ?

(あなたは . . . が好きですか?)

Vocêは「あなた」、gostaは「好き」。文の最後を上げるように発音すると、疑問の意味になります。 . . . のところに下の単語を当てはめて練習してみてください。

Futebol (サッカー) música (音楽)
esporte (スポーツ) viajar (旅行)

それでは皆さん、Tchau, até o mês que vem! (さよなら、また来月)

(彦根市国際交流員 上甲イウカ)